



8 月号

編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160

とちぎ

県民だより

不法投棄に監視の目を



許ささない！
不法投棄



土を除くと、その下からは廃棄物が

近年、不法投棄のやり方が悪質化、巧妙化する傾向にあります。住民の通報で発見された事例では、土地の造成をしているように見せかけていましたが、調査のため現場を掘ってみると、プラスチック類や、金属くずなどが大量に見られました。

悪質化・巧妙化する不法投棄

山のように積みあげられた古タイヤ。山林に堂々と置き去りにされる家電ゴミ。県内で確認される不法投棄の件数は、年間約六〇〇件ののぼり、ここ数年、その件数は減少していません。

また、今年四月から家電リサイクル法が施行されましたが、廃家電が県内で不法投棄されるケースも報告されています。

県では、不法投棄の未然防止のために監視体制を強化。また、投棄者には厳しく指導するなど、不法投棄対策に全力を挙げて取り組んでいます。

また、ある業者は、適正な保管量を守らずに、許可された数十倍もの廃棄物を積み上げたまま放置。近隣にゴミが飛散するなど、地域の生活環境を脅かしている事例もあります。

県の不法投棄対策担当である警察官（併任）は、「最近では、休日や夜間に行ったり、『くぼ地を整理してあげる』などと地主をだまして廃棄物を埋めてしまうなど、通常の方法では見つけられない巧妙なやり方が目につきます。また見つかっても、『一時的に保管するだけ』などと開き直る悪質なケースも増えています」と言います。

県では、こうした不法投棄の撲滅に向けて、警察や市町村と連携を図りながら不法投棄対策を進めています。今回は、その取り組みについてご紹介します。

（次頁へつづく）



監視を強化、指導を徹底

不法投棄の背景

廃棄物は、その性質によってそれぞれ適正な処理方法が法律で定められています。また、産業廃棄物を出す事業者（排出者）には、自ら責任を持って、最後まで廃棄物を適正に処理することが義務づけられています。

しかし、排出者の中には、処理方法をきちんと確認せずに、安易に廃棄物の処理を業者に委託してしまうことがあります。「ただ目の前からゴミがなくなればいい」といった排出者の意識が、不法投棄につながっているのです。

また、廃棄物を処理できる施設そのものが少ないことも原因のひとつと考えられます。

進められる不法投棄対策

不法投棄対策で最も重要なことは、早期に見出し、早期に対応することです。このため、県では、監視体制の強化など積極的な対策を講じてきました。

市町村に対し、廃棄物監視員を配置するための助成を行ったり、市町村職員に立入検査の権限を付与したりするなど、県内全域にわたり監視体制を強化するほか、県環境整備課内に警察官を配置し、悪質な事例にも適切に対応できるようにしました。

不法投棄の監視や情報収集活動では、夜間・休日の巡回パトロールや、ヘリコプターを使つての監視活動なども行っています。また



県では不法投棄パトロール隊を編成し陸と空から広範囲に監視活動を行っています

今年度からは、不法投棄されやすい山間部に監視カメラを設置し、モニターで常時監視できるようにしました。

さらに、不法投棄を発見した場合には、投棄者はもちろん、事例によっては処理を委託した排出者や、土地所有者に対しても撤去指導を行っています。

県環境整備課は不法投棄に対し、「『捨て得は絶対に許さない』という決意で、関係機関と連携しながら厳しく対処する」と、強い姿勢でのぞんでいます。

不法投棄を許さない地域づくりを

不法投棄は、こころない一部の人間により行われています。一度、不法投棄されてしまうと、その撤去や現状回復には膨大な時間と人手、そして経費がかかります。さらに、大量に投棄されたり、発見が遅れたりすると、地下水の汚染や悪臭の発生など、周辺の生活環境にも、大きな影響を与えるおそれがあります。

私たちの生活環境を不法投棄から守るためには、県民の皆さんからの通報は大切な情報源のひとつです。「不法投棄の現場や不審な行跡を見たら、まずは情報提供を」と、担当者は呼びかけています。

また一方では、タタミやタイヤ、家電製品など、元々は私たちの日常生活に使用されていたものが、不法投棄されている現実もあります。県民の皆さん一人ひとりが、日頃から廃棄物の適正処理に関心をもち、ゴミの減量化やリサイクルの推進など、ゴミを出す立場から努力することも大切なことです。

そしてなにより、「不法投棄を許さない、させない、許さない」と



パトロール車のほか、山間部に設置した監視カメラで不審な車両などをチェックしています

不法投棄の情報をお寄せください!

- 不法投棄110番
- 県西健康福祉センター……………☎0289-64-3019
- 県東健康福祉センター……………☎0285-83-7222
- 県南健康福祉センター……………☎0285-22-4309
- 県北健康福祉センター……………☎0287-22-2277
- 安足健康福祉センター……………☎0284-41-5096
- 宇都宮市産業廃棄物対策室…☎028-632-2928
- 環境犯罪情報110番
- 栃木県警察本部……………☎028-621-5300

◇問合せ 県環境整備課
TEL 028-623-3154

TOPICS



初めてのカヌーを体験する子どもたち

心豊かでたくましく ワクワク夢体験の船

七月二十四日から二十九日まで、「ワクワク夢体験の船」が行われました。雄大な自然の中での集団活動や野外活動を通して、青少年の自主性やたくましさなどを培うために毎年実施しているもので、今回で六回目を迎えました。参加したのは県内の小中学生二百名。船内での洋上研修のほか、北海道での体験活動、地元の子もたちとの交流会など、子どもたちは日常では味わえない感動を体験しました。

◇問合せ 県生涯学習課
TEL 028-623-3408

とびっくす



思い出のイチイを植樹される両陛下

天皇后両陛下 イチイの若樹を植樹

天皇后両陛下は七月十六日、日光田母沢御用邸記念公園（日光市本町）をご視察になりました。同公園は、昨年八月、県が旧御用邸を大正期の姿に復元し、公園として整備したものです。ここは、天皇后陛下が一時期を過ごされた場所でもあり、両陛下は、約一時間にわたって、当時の思い出を話されながら園内をご覧になりました。

ご視察の後、両陛下は庭園でイチイの木若樹一本を植樹されました。

TOPICS



7月6日、福田知事は2人を激励しました（写真右 木沢さん、写真左 鈴木さん）

世界ろう者競技大会で 本県選手が活躍

聴覚障害者のスポーツの発展を目的とした「世界ろう者競技大会」が七月十九日から八月一日まで、イタリア・ローマで開催されました。四年に一度開かれるこの大会は今年で十九回目。七十五か国の選手が参加し、十五の競技が行われました。

本県からは二名が出場。宇都宮市の鈴木浩美さん（ボウリング）は男子個人戦で四位入賞、鹿沼市の木沢一俊さん（バレーボール）も六位入賞と、大活躍しました。

◇問合せ 県障害福祉課
TEL 028-623-3020



各委員間で様々な意見交換がされています（写真は、第2回検討会議）

『県庁舎整備計画』 見直し検討を進めています

県では現在、これまで進めてきた『県庁舎整備計画』の見直し検討を進めています。

また、検討を進めるにあたっては、広く県民の皆さまからご意見をいただくことが重要であると考え、今年四月、「県庁舎整備計画見直し検討会議」を設置しました。

この検討会議の開催状況についてお知らせいたします。

様々な角度から検討

「県庁舎整備計画見直し検討会議」は、各分野の専門家と一般から公募した方々の十八名の委員で構成されています。検討会議の座長には、宇都宮大学元学長の馬場信雄氏が指名されました。県がこの検討会議に検討をお願いしているのは、「県庁舎の建て替えは必

●**第二回（六月二十九日）**
検討項目のうち、本館の「耐久度」について「県庁舎耐久度調査専門委員会」から報告がありました。また、「本館の文化的価値」、現在地での建て替えに備えて「先行的に整備した土地・建物の扱い」、そして「県庁周辺の交通対策」について話し合いがされました。

●**第一回（五月十日）**
これまでの県庁舎整備に関する経緯や整備計画、また現庁舎の耐久度調査の方法について、県が説明を行いました。各委員からは、検討会議の内容、進め方への要望が出されました。

今月末に検討とりまとめ

検討会議は、五月から月一回のペースで、計四回開かれます。

これまでに開催された三回の会議では、各委員から、質問や要望などを含め活発な意見交換がされています。開催状況の概要は次のとおりです。

●**第三回（七月三十日）**
二回目に引き続き、検討項目のうち、議会議事堂と第二庁舎の「耐久度」について、専門委員会からの報告がありました。また、「バリアフリー化」、「防災機能」、IT化に対応できる「電子県庁化」、県都としての「中心市街地活性化」や県庁舎整備が及ぼす「経済波及効果」について話し合いがされました。



4月から7月にかけて行った耐久度調査

会議の最終回となる八月二十九日には、検討の結果がまとめられる予定です。

県では、この検討結果をふまえて、県庁舎整備についての基本的な考えを決定することとしています。

◇問合せ 県庁舎整備室
TEL 028-623-2083

▼検討会議の議事録を公開しています。また、県ホームページ（県庁舎整備室のページ）でその概要をご覧いただけます（下欄参照）。

国会等移転ニュース

移転先候補地の4県知事大いに語り合う



7月19日、福島県須賀川市の「うつくしま未来博」会場に、国会等移転先候補地となっている栃木・福島・岐阜・三重の4県知事が集い、「ビッグトークショー」が開催されました。

現在国会の場で審議が進められ、来年5月を目途に移転先地の絞り込みが行われる予定の国会等移転。この日は、国会等移転の展望と課題をテーマに、移転の今日的意義や必要性、国民合意に向けた取組などについて活発な話し合いが繰り広げられました。

この中で福田知事は、「国民の合意形成に向け国が夢のあるビジョンを示すべき」と訴えました。

最後に、「国民的な議論を喚起するため一致協力しながら積極的に取り組んでいくとともに、時々の状況に感わされずに早期に実現すべきことを国民に訴える」との共同アピールが採択されました。

◇問合せ 県企画調整課国会等移転対策室
☎028-623-2209

トークショーの様子は、県政アワー（4面の広報番組参照）で放送します。ぜひご覧ください。

あなたの大切な
情報を守るために

個人情報保護条例が 10月1日からスタートします

「個人情報」とは、氏名、住所、年齢、職業など、個人に関する情報で、個人が特定される情報のことをいいます。

個人情報の収集や利用は、事業の実施やサービスの提供のために欠かせません。しかし、情報の集め方や利用方法によっては、個人の権利利益を侵害するおそれもあります。

そこで県では、「栃木県個人情報保護条例」を3月に制定し、個人情報の適正な取り扱いのルールを定めるとともに、県が保有する個人情報の開示・訂正を求める権利を明らかにしました。

県は個人情報を適正に取り扱います

情報を集めるときは、

- ◆ 目的を明確にし、その範囲内で適法、公正な手段で集めます。
- ◆ 思想や信条、信教、また社会的差別の原因となる個人情報は、原則として集めません。
- ◆ 原則として、個人情報はご本人から集めます。

情報を利用・提供するときは、

- ◆ 原則として、個人情報を本来の目的以外のために、利用・提供いたしません。

集めた個人情報は、

- ◆ 正確で最新の内容に保つようにします。
- ◆ 外部に漏れたり紛失したりしないようにします。
- ◆ 必要がなくなったときは廃棄します。



自分の情報の開示・訂正を求めることができます

県の機関の公文書に記録されている自分の情報を、どなたでも開示請求できます。また、開示を受けた個人情報に誤りがある場合は、その訂正を請求できます。

◇問合せ 県文書学事課情報公開班 ☎028-623-2058

マロウド ガイド



花 歳 時 記

トウヤクリンドウ (リンドウ科)
 山の秋を彩るリンドウの中で、黄色い花を咲かせるのは本種だけ。穂先はあまり開かず、真横から透かして見ると電球のようです。リンドウの仲間は胃腸薬になるものが多く、本種の和名も「当薬」からきています。
ウォッチングポイント
 奥日光白根山の山頂付近に見られ、岩場に囲まれて咲く高山植物の一種。花の見頃は8月中旬から9月上旬。

県子ども総合科学館

宇都宮市西川町567 ☎028-659-5555

- 第39回企画展「ふしぎな海賊船」
- 9月2日(日)まで
- 不思議な海賊船に乗って宝探しの冒険の旅に出かけよう
- 天体観望会
- 8月18日(土)午後7時～9時 ●火星、リング状星雲M57、へび座の星雲M16等
- 大型望遠鏡で宇宙の神秘にふれてみませんか



ふしぎな海賊船

県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566

- オーストラリア・アボリジニの美術「ドリームタイム」へのいざない
- 9月2日(日)まで
- 神話や儀礼を描いた点描画等の絵画約110点とブーメラン等の工芸品により、オーストラリアの先住民アボリジニ独特の芸術世界を紹介します



ジョニー・ワランクラ・チュブルラ《カリバ・チカリ 雨の後》

県立博物館

宇都宮市陸町2-2 ☎028-634-1312

- 特別企画展「京都・日光・例幣使-光格天皇と幻の将軍」(霞会館と共催)
- 9月11日(火)～10月21日(日) ●特別料金 一般600円他
- テーマ展「昆虫界の人気者」
- 9月9日(日)から ●連続講座「考古学入門講座」
- 8月18日(土)～19日(日) ●電話申込み



「禁裏御贈箱(文化12年) 輪王寺所蔵

県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

- 読売日本交響楽団特別演奏会サマーフェスティバルファミリーコンサート
- 8月26日(日) 午後3時開演
- 指揮/大友直人 司会/山田美也子
- 劇団四季オリジナルミュージカル『夢から醒めた夢』
- 11月5日(月)午後6時30分開演 ●9月8日(土)チケット発売開始



指揮/大友直人

お知らせ

Information

募集

- 「とちぎトーク21」参加者募集
- 若い世代の県民と福田知事がとちぎの未来について、お互いに語り合う集いの参加者を募集します
- 日時 9月29日(土)午後1時～4時30分
- 会場 とちぎテレビ ●対象 集会当日、満18歳から40歳未満で県内にお住まいの方 ●定員 30名 ●集会の様子は、後日とちぎテレビで放送予定 ●応募方法 住所、氏名、性別、生年月日、連絡先、職業及び「私が考えるとちぎの未来」をテーマに、当日知事に話してみたい提言などを400字以内で記入し、封書、ファクシミリ、電子メールで ●締切 8月31日(金)消印有効 ●問合せ 県広報課 ☎028-623-2158
- 「ジュニア知事さん」作品募集
- 内容 もし私が知事になったらしてみたいことを、400字づつ原稿用紙1枚で ●応募資格 小学4～6年生 ●締切 9月14日(金)消印有効 ●問合せ 県広報課 ☎028-623-2158
- 「河川愛護ポスターコンクール」作品募集
- 内容 河川愛護の意識を高める内容の作品(B3版タテ使用) ●応募資格 小学生以上の方 ●締切 9月28日(金)必着 ●問合せ 県河川課 ☎028-623-2439
- 「ふるさとの松ポスター原画」の募集
- 内容 松を題材にした作品(B3版タテ使用) ●応募資格 県内に在住、通勤・通学する方 ●締切 9月30日(日)消印有効 ●問合せ 各林務事務所、県造林課 ☎028-623-3296
- 「都市公園写真コンクール」作品募集
- 内容 県営都市公園の四季折々の表情を写した作品(カラープリント四つ切り) ●応募資格 アマチュアの方 ●受付期間 10月1日(月)～12月20日(木) ●問合せ (財)栃木県民公園福祉協会 ☎028-659-5868

- Tマーク商品(県優良デザイン商品)の募集
- 県内に事業所を有する法人(資本金5億円以下)または個人が生産する一般消費者向け商品で、優れたデザインのもの募集します ●応募方法 8月31日(金)までに所定の応募用紙で(消印有効) ●問合せ 県工業課 ☎028-623-3199
- 「とちぎテクノモール」で研究成果を発表してください
- 期日 10月17日(水)午後1時30分～ ●会場 プラザインくろかみ ●募集内容 企業、大学及び研究者が保有する開放可能な特許、研究成果など ●締切 8月22日(水)必着 ●応募方法 など詳細はお問い合わせください ●問合せ 県工業課 ☎028-623-3249

催し

- 出会い・ふれあいの集い
- 障害者の方が広く交際のチャンスを得られるよう、交流会を開催します。ぜひご参加ください
- 10月21日(日)午前9時30分～午後3時 ●場所 とちぎ福祉プラザ(宇都宮市) ●対象 県内在住の方で結婚を希望する方(障害者・健常者は問いません) ●定員 30名程度 ●参加無料 ●申込み 8月31日(金)までに電話で ●問合せ 県身体障害者総合相談所 ☎028-623-6353(日・水・土曜日の午前10時～午後3時)
- 鬼怒川上流流域下水道フェスティバル
- 8月25日(土)午前10時～正午 ●場所 鬼怒川上流浄化センター(今市市) ●内容 施設公開、マスのつかみ取りほか ●参加無料 ●問合せ 同センター ☎0288-21-7311

講座

- 福祉職体験学習会
- 期日 9月17日(月)～10月5日(金)のうち1日 ●対象 福祉職を希望する方、福祉に関心のある方 ●内容 福祉施設での1日介護体験、利用者との交流など ●定員 79名 ●参加無料 ●申込み 8月31日(金)までにハガキ、ファックスで ●申込み・問合せ 栃木県福祉人材・研修センター(宇都宮市若草1-10-6) ☎028-643-5622、FAX028-623-4963

- 県人権同和対策推進県民会議 啓発担当者研修会
- 8月31日(金)午後1時30分～3時 ●会場 県総合文化センター ●定員 1,600名 ●内容 講演「ハンセン病患者からみた日本人の権利」 ●問合せ 県人権同和対策課 ☎028-623-3026
- パルティ(とちぎ女性センター)の講座
- ◎検定準備コース～マウス検定 エクセルヘチャレンジ ●9月12日～10月31日の水・金曜日(全15回)午後6時～8時30分 ●場所 パルティ(宇都宮市) ●内容 講話、パソコン講座 ●対象 18歳以上の方 ●定員 20名 ●参加費 17,000円 ●申込み 8月28日(火)までに電話で ●問合せ とちぎ女性センター ☎028-665-7706

試験

- 産業技術大学校入学生募集
- 募集学科(各科定員20名)
- 【県北校 ☎028-689-6374】機械技術科、制御システム科、自動車工学科、建築設計科、設備システム科
- 【県北校 ☎0287-64-4000】生産エンジニア科、通信エンジニア科、サービスエキスパート科
- 【県南校 ☎0284-91-0803】機械システム科、電気システム科
- 募集期間 《推薦》9月18日(火)～27日(木)《一般》10月30日(火)～11月8日(木) ●試験日 《推薦》10月12日(金)《一般》11月22日(木) ●問合せ 各産業技術大学校
- 県立衛生福祉大学校入学試験
- 推薦入試 看護本科10月24日(水)、看護専科10月23日(火)、歯科衛生10月25日(木)、歯科技工10月26日(金)、保育10月30日(火) ●願書受付 10月1日(月)～5日(金) ●一般入試もあります ●詳細はお問い合わせください ●問合せ 同校 ☎028-658-8521
- 県南高等看護専門学院入学試験
- 推薦入試 10月23日(火) ●願書受付 10月1日(月)～5日(金) ●一般入試もあります ●詳細はお問い合わせください ●問合せ 同校 ☎0282-27-7888

案内

- 福祉のしごと移動相談会
- 8月18日(土)午前10時30分～午後3時(受付終了午後2時30分) ●会場 黒磯市いきいきふれあいセンター(黒磯市桜町) ●福祉の仕事に就きたい方に福祉職の紹介・あつせん、求人状況、資格取得、学校案内などの情報提供・相談を行います ●相談無料 ●問合せ 栃木県福祉人材・研修センター ☎028-643-5622
- 家庭教育相談事業「巡回相談」のお知らせ
- 日時 ①9月5日(水)午前10時～正午 ②9月15日(土)午前9時～正午 ③9月21日(金)午前10時～午後3時 ●場所 ①市貝町中央公民館 ②みんなのひろば(高根沢町) ③矢板公民館 ●子育ての不安や悩みなどお気軽にご相談ください ●申込み 各実施日の2週間前までに電話、ハガキ、ファックスで ●問合せ 県生涯学習課(宇都宮市埴田1-1-20) ☎028-623-3404、FAX 028-623-3406
- 開業準備のご相談に応じます!
- 県内5カ所の地域中小企業支援センターでは、新たに事業を始めようと考えている方の様々な相談に応じています。また、法律・会計・マーケティングなどの専門家の派遣サービスも実施しています。ぜひご利用ください ●①栃木・小山地域(☎0282-23-3131) ②両毛地域(☎0284-71-1354) ③塩那地域(☎0287-43-0272) ④県西地域(☎0289-65-1111) ⑤県央地域(☎0285-82-3305) ●問合せ 最寄りの商工会・商工会議所、県中小企業支援センター、県商工振興課 ☎028-623-3165
- ポリ塩化ビフェニル(PCB)特別措置法が7月15日から施行されました
- PCB廃棄物(コンデンサー、トランス、蛍光灯安定機等)を保管している事業者は、8月31日(金)までに各健康福祉センター(県西・県東・県南・県北・安足)、宇都宮市へ保管状況等を報告してください ●問合せ 宇都宮市産業廃棄物対策室 ☎028-632-2928、県環境整備課 ☎028-623-3154



県の広報番組 とちぎテレビ

◎県広報課 ☎028-623-2190

県アワー

●毎週日曜日 18:05～18:30
 (再)月曜日 12:05～12:30

- 8月19日 国会等移転への取り組み
- 26日 災害に備えて ●警察
- 9月2日 Jr.知事さん ほか
- 9日 性を見つめて ●教育

クローズアップ とちぎ

●毎週土曜日 9:00～9:30
 (再)月曜日 22:00～22:30

- 8月18日 外形標準課税って何?
- 25日 ITを体験しよう!
- 9月1日 市町村合併推進
- 8日 受講してみませんか介護研修
- 15日 総合防災訓練

とちぎ情報局

●毎週木曜日 22:00～22:45
 (再)日曜日 8:30～9:15

とちぎ情報局
 「わがまち発見伝」
 県民レポーター募集中!

- 8月16日 怪談「大中寺の七不思議」(大平)
- 23日 心のレールを走るSL(大田原ほか)
- 30日 足利八木節物語
- 9月6日 半世紀前の記憶～今市地震～
- 13日 高校生ゴルファーの挑戦(佐野)

●県内在住の方(年齢・性別問いません)
 ●応募締切 8月22日(水)必着
 ●問合せ とちぎテレビ TEL028-623-0031
 http://www.tochigi-tv.co.jp